

### 30周年ありがとうー『きみたちの笑顔のために児童センターは存在します』

#### 児童センターの紹介

##### <昭和62年に開設>

●児童センターは、子どもたちが心身ともに健やかな成長を  
図れるよう、昭和62年4月、増永に開設しました。健全な  
遊びを通して、運動に親しむ習慣を育むとともに、情操を豊  
かにし、仲間づくりや社会性を学ぶことができます。

●児童センターには、広い遊戯室や図書室があります。また、  
たくさんの遊具があります。みなさん遊びに来ませんか。

例：バドミントン・卓球・バスケットボールの道具、一輪車、  
三輪車、いろいろなブロックなど

##### <楽しい行事がたくさん！>

●6月の小岱山ハイキング、7月の七夕まつり、8月の夏まつり、  
11月の金峰山バスハイク、2月の節分豆まき、3月の七宝焼き教室と1年を通じて行事がいっぱいです。

##### <問い合わせ>

◎開館時間：(火～金曜) 午前8時30分～午後6時  
(土・日曜) 午前8時30分～午後5時

◎休館日：毎週月曜日、第2・4火曜日、祝日・年末年始(12月29日～1月3日) ☎63-2517



#### 【Special Interview】

児童センターの開設当初から携わってこられた坂田守所長と、同センターで36年にわたり子どもたちにスポーツを教えてこられた秋富しつゑさんのお二人に、30年の思いを伺いました。

楽しく触れ合いながら、仲間づくりを行う施設です。当初は来館者の多くが近所の子どもたちでした。もっと市内全域から来てほしいと思い、市内全ての小学校を回って児童センターをPRしました。その後、小学3年時の、施設巡りのバスツアーで児童センターにも立ち寄ってもらえるようになり、来館者は飛躍的に増えて、今では年間1万5千人もの人に利用してもらっています。児童センターにはバスケット、バドミントン、卓球などのさまざまな遊具があり、遊びは全て子どもたちの自主性に任せています。時折、危険な遊びをしそうになる時は、しっかりと注意をし、なぜ注意されたのかをきちんと説明しています。児童センターも30周年を迎え、親子2代で遊びに来る子どもたちも多くなってきました。当時の子どもたちによく声をかけられることもあります。児童センターの理念を心に刻んできた子どもたちが社会の一員となり、人の親となっていると思うと感慨もひとしおです。これからの児童センターは、子どもたちの仲間作りを通して、社会から少しでもいじめや差別が無くなるように役立ってほしいと考えています。



「子どもたちの居場所を作ろう」との声が上がり、昭和62年に児童センターが開設されました。市内全ての子どもたちが、

なる前だったので、私にとって市内で初めてスポーツを教えた場所です。36年間も続けさせていただき、感謝しています。児童センターに来る子どもたちは、とても素直な子が多いなど教室を開くたびに感じていました。話をよく聞いてくれましたし、参加者全員でスポーツを楽しんでいる姿が印象的でした。毎年違う種目を教えていたんですが、まだ知る人の少ないニュースポーツなどはまずここで試してみても、市内に普及していくかどうかを考えていたくらいです。ここに遊びに来る子どもたちは、とても良い経験をしているなと感じます。子ども同士で仲良く遊び、違う学校の子どもたちともどんな輪を広げていっています。そんな中で、大人になっても大切な、他人を尊重する心や社会性を学んでいくんではないでしょうか。私の孫も気に入って通っていたんですよ。たくさんイベントもありませんが、もっと知られるようになって欲しいです。市内のみんながより多く参加するようになれば、児童センターを介してたくさんの人とのつながりができ、子どもたちにとってよりよき場所になるでしょうね。



実は児童センターができる前から増永でスポーツ教室を開いてきました。まだ、市スポーツ推進委員(旧：体育指導員)

## 児童センターは開設30周年を迎えました

～きみたちの笑顔とともに歩んできた30年～

### 盛大に開催！児童センター開設30周年記念事業 ～アジャタ競技・レクスポーツで汗を流す～

6月25日、児童センター開設30周年を記念し、市内小・中学校から児童・生徒はじめ教職員、PTAなど計18チーム(児童の部：12チーム、一般の部：6チーム)約200人が、市民体育館でアジャタ競技(競技玉入れ)を楽しみました。



アジャタ競技では、8人で構成されたチームで協力し、籠に99個のアジャタボールを入れ、最後にアンカーボール1個を入れるまでの時間を競いました。児童の部(高さ2.8m)では中央小Bチームが1分9秒、一般の部(高さ3.5m)では中央小職員が48秒で優勝しました。どのチームも掛け声を響かせ、チームプレーを楽しんでいました。



#### 【Interview】

北田幸紀乃さん  
清里小6年

初めてアジャタをしました。最初はまったく入らなかったけど、あとでみんなで作戦を考えて入るようになってきたので、楽しかったです。玉入れとはまた違った楽しさがあるので、機会があればやってみたいと思いました。



同時に、室内用ペタンク、輪投げなどの体験コーナーを設け、参加者はレクリエーションスポーツでさわやかな汗をかいていました。このほか、体育館内にはこれまでの30年間の児童センター行事の写真展示を行い、懐かしい写真に見入っていた人もたくさんいました。